

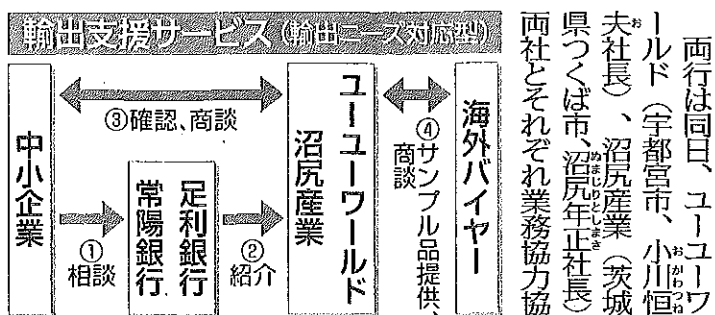
# 足銀、中小の輸出支援

## 貿易流通2社と協定

常陽銀と  
枰組

めぶきフィナンシャルグループ(FG)の足利銀行(松下正直頭取)と常陽銀行(寺門一義頭取)は13日、中小企業の海外販路拡大に向け、貿易実務のノウハウを持つ地元貿易流通企業2社と連携し、新たに「輸出支援サービス」を始めた。輸出したい企業を2社に紹介し、事務手続きや人材面などで支援を進める。中小企業が海外企業との取引をスムーズに始められるようにして輸出企業を増やすのが狙いだ。

(岡田優子)



両行は同日、ユーユーワールド(宇都宮市、小川恒夫社長)、沼尻産業(茨城県つくば市、沼尻年正社長)両社とそれぞれ業務協力協定を締結した。

ユーユーワールドは本県産品を中心に中国や香港、東南アジアへの貿易実績が豊富で、沼尻産業は主にシンガポールへ茨城県産品を輸出している。実績のある地元の貿易流通企業を紹介することで、中小企業によりきめ細かなサポートを提供する。両行にとっても外国為替の取扱高を増やす機会となり、収益増につなげたい考えだ。

両行は、初めて輸出を検討する企業に対し、商品や輸出希望国などのニーズを吸い上げ、より適した貿易流通企業を紹介。その後は企業間で直接、輸出方法などを確認してもらい、海外バイヤーとの商談に臨む。

中小企業が海外バイヤーと直接貿易を希望する場合、書類作成や通関などの事務手続き、貿易実務を担う社内の人材育成・確保面で支援を受けられる。適正な販売価格の設定などの助言も受けられる。

両行はこれまで輸出について個別に対応。枰組みを設けるのは初めてで、全国の地銀でも珍しいという。枰組みを使い、逆に海外バイヤーが輸入したい商品に

ついて2社を通じてヒアリングし、両行が地元企業から公募する流れもつくる。足銀担当者は「目に見える形ができたことで、お客さまにより提案しやすくなった。1社でも多く輸出企業を増やしたい」と話す。